

授業科目名 (講義題目)	企業倫理		開講学期 単位数	後期 2単位
担当教員	石田 寛		講義コード	科目区分 対象学生
			17176022	
開講予定日	2コマ連続 ①② 10/2 ③④ 10/16 ⑤⑥ 10/30 ⑦⑧ 11/13 ⑨⑩ 11/20 ⑪⑫ 12/4 ⑬⑭ 12/18 ⑮ 1/15 (1コマ)			
履修条件	履修上の条件(事前履修科目や特定の知識等)はないが、1年次に履修することが望ましい	キーワード	企業倫理、モラルセンス、人間力、決断力、ISO26000、BOPビジネス、共通価値の創造(Creating Shared Value)、人権 Due Diligence	
全体の教育目標	経営判断に必要な企業倫理の視座を学ぶ	個別の学習目標	「経営リーダーの企業倫理の視点」「企業倫理を組織にどのように根付かせるか」「企業の社会的責任について」「意思決定におけるブレない判断軸のあり方」	

授業の概要

【内容】

経営者又は経営現場のリーダーとして身につけておくべき企業倫理の基本を学ぶ。具体的には、企業倫理、コーポレート・ガバナンス、企業の社会的責任(CSR)、コンプライアンスなどのベストプラクティスを企業経営にどう根付かせるかという視点に立つとともに、様々な経営場面において、倫理的な判断が可能になるための基準、考え方などを習得する。

【アプローチ】

企業倫理の分野で重要と考えられる理論やツールの原理的側面を理解し、それらをケース・スタディーに応用して実践的に考える訓練を行う。

【期待成果】

経営者又は経営リーダーとして次のような対応が出来る人材を養成する。

- (1) 高いモラルマインドを有する組織を構築するための視座を持つこと
- (2) 「効率性、収益性、競争力」等の達成と「人間性、社会性、道徳性」等の実現を同時に備えた経営判断が出来るための視座を持つこと

授業の進め方

【授業メソッド】

毎回の授業において、「理論」と「ケース・スタディー」を併用し、次の方法を組み合わせた授業を行う。

- (1) 事前学習の理解度についての点検(講義及びディスカッション)
- (2) ケースについては、主に、一定の理論やツールを利用しつつ、ディスカッションする方式を採用する

【受講に際しての注意】

- ・ 最初の授業は、ガイダンスを行なう。
- ・ テキストや参考書は変更されることがある。変更がある場合は、授業開始後、タイムリーに受講者に連絡を行なう。
- ・ 本科目は、はじめてQBSの授業を受講する者を対象とした授業内容となっているため、1年生を対象とする。但し、1年次に「不可」であった者、やむを得ない事情で1年次に受講出来ない者は、2年次の受講を許可する。

教科書および 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・ CSR 経営 モラル・キャピタリズム ～グローバル時代の資本主義のあり方～ スティーブン・B・ヤング 生産性出版 2,600 円 ・ 日産の CSR 戦略 ～成長と信頼に基づく持続可能性の経営～ 日産自動車、経済人コー円卓会議日本委員会 生産性出版 2,400 円
試験・成績評 価の方法等	<ul style="list-style-type: none"> <予習> 30% 予習状況 → 各回、教員が理解度を確認する <授業参加> 40% 設問に対する的確な対応 → <ul style="list-style-type: none"> (1) 口頭での発表の積極性とその質、 (2) Reading Assignment 内容に基づく応用力、 (3) ケースに関する意見やコメントの的確性 <試験・レポート> 30% 授業シリーズ終了後のレポートまたは試験